

令和7年度 小学校部会の役割

小学校の実態・発達段階等に応じた 推進目標・全体重点目標に向けた支援
- I C T を日常に生かし、学び方を選べる子を育てる使い方を広げる -

年度当初の課題 等

- ① 情報活用能力が学びとつながりにくい
- 学びの連続性や蓄積に課題
- 児童の学びの変容が見えにくい
- ② タイピング・情報モラルにばらつき
必修のプログラミング教育が不十分
- ③ 教員が I C T のよさを実感しにくい



方策

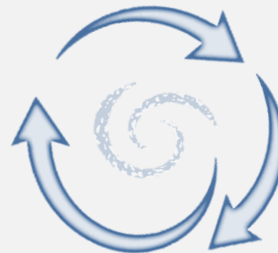
- ① I C T スキル体系表の整備
情報活用能力年間指導計画の見直し
振り返りテンプレートで記録・共有
- ② タイピング大会と育成モデルの可視化
S T E A M 型授業の推進（Minecraft等）
- ③ 好事例の周知と活用法の共有

活動の進捗状況・今後の予定

① スキルの体系化と見える化

🌀 情報活用能力年間指導計画

- ・ 文字入力・ツール活用の段階化
- ・ 学びの過程を記録し、柔軟に改善
- ・ 生成 A I の理解、情報モラル計画



② 児童の I C T 基礎力向上

🏠 徳島県タイピング大会

- ・ 71校、1,368名が参加（県内15自治体）
- ・ 参加回数など成長を可視化
- ・ 「冬の大会」は対象を拡大

③ 好事例の普及と横展開

📁 県内推進校の実践共有

- ・ Googleスプレッドシート™ 「振り返りテンプレート」を提供